



平成 29 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名 日 本 水 産 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 細 見 典 男  
コ ー ド 番 号 1332  
問 合 せ 先 経 営 企 画 IR 室 長 根 本 喜 一  
(TEL. 03-6206-7037)

(訂正)「平成 24 年 3 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 23 年 8 月 5 日に開示いたしました「平成 24 年 3 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成 29 年 1 月 20 日付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度に係る決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_\_\_\_を付して表示しております。

以上

【訂正後】



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本水産株式会社  
 コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 垣添 直也

問合せ先責任者 (役職名) 法務部長 (氏名) 竹内 康訓

TEL 03-3244-7181

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	135,171	13.2	3,617	101.5	3,060	389.4	1,243	—
23年3月期第1四半期	119,426	△1.3	1,794	22.1	625	△52.9	△947	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,957百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △3,770百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.50	—
23年3月期第1四半期	△3.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第1四半期	410,909		73,792		13.1
23年3月期	401,185		73,214		13.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 53,637百万円 23年3月期 52,846百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	270,000	13.8	4,500	35.8	3,500	411.4	2,000	—	7.24
通期	525,000	6.2	12,000	48.4	11,000	75.3	5,500	—	19.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	277,210,277 株	23年3月期	277,210,277 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	916,322 株	23年3月期	915,222 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	276,294,631 株	23年3月期1Q	276,305,059 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。  
・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
四半期連結損益計算書	P 6
四半期連結包括利益計算書	P 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 8
(4) セグメント情報等	P 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災およびその後の原子力発電所事故などの影響を受け、企業活動の停滞や個人消費の落ち込みがあり、厳しい状況が続きました。

世界経済につきましては、中国を中心とするアジアでは内需を中心に景気拡大が続き、米国や欧州では景気は緩やかに回復しつつあるものの、欧州での財政・金融不安などが影響し、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下で当第1四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は1,351億71百万円（前年同期比157億44百万円増）、営業利益は36億17百万円（前年同期比18億22百万円増）、経常利益は30億60百万円（前年同期比24億34百万円増）、第1四半期純利益は12億43百万円（前年同期比21億90百万円増）となりました。

事業の営業の概況は次のとおりであります。

#### ①水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は544億37百万円（前年同期比141億38百万円増）となり、営業利益は4億53百万円（前年同期比11億52百万円増）となりました。

漁撈事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本および南米において閑漁期にあたり、漁獲量は低調に推移しました。

養殖事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、養殖技術の向上などにより販売数量が増加し、魚価も堅調に推移しました。
- ・南米では、チリの鮭鱒養殖事業で魚価が堅調に推移したことに加え、飼料、種苗の販売も順調でした。

加工・商事事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、東日本大震災後に一時的な輸入冷凍魚の需要増があり、当社において、鮭鱒、白身魚などが増収となりました。
- ・北米では、すけそうだら漁獲枠が増加し、漁獲および生産も順調に推移しましたので、すりみ・フィレーの生産数量が増加しました。
- ・南米では、ネチャーノ・インターナショナル社（注1）、ヨーロッパではノルディック社（注2）が連結子会社となりました。

#### ②食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は682億73百万円（前年同期比6億18百万円増）となり、営業利益は16億76百万円（前年同期比1億5百万円減）となりました。

加工事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、デルマール株式会社（注3）が連結子会社となりました。東日本大震災とその後のサプライチェーンの寸断や計画停電などによって業界全体の製品供給能力は落ち込む一方で、消費者の買いためなども起こり、当社の家庭用冷凍食品や業務用冷凍食品は増収となりました。
- ・北米の業務用冷凍食品会社は低調に推移しましたが、北米およびヨーロッパの家庭用冷凍食品会社は順調に推移しました。

チルド事業：前年同期比で増収、減益となりました。

- ・日本では、コンビニエンスストア向け麺類やチルド弁当の販売が伸長し増収となりましたが、生産工場の再編による生産品目の変更などがあり減益となりました。

#### ③ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料（注4）、機能性食品の生産・販売を行っております。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は68億75百万円（前年同期比10億50百万円増）となり、営業利益は19億36百万円（前年同期比7億73百万円増）となりました。

ファイン事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、東日本大震災の影響を受けて、医薬原料の販売が前倒しで推移したことから増収となりました。また、医薬品、診断薬の販売も堅調に推移しました。

## ④物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は29億9百万円（前年同期比56百万円増）となり、営業利益は3億59百万円（前年同期比32百万円増）となりました。

物流事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、冷蔵倉庫事業において、東日本大震災の影響により東北エリアは減収となりましたが、首都圏エリアでは入庫量が増加し増収となりました。

(注1) 平成22年5月に設立し同年9月より事業を開始した、ブラジル連邦共和国ペルナンブコ州レシフェ市に本社を置く養殖事業、水産調理冷凍食品の製造・販売を主な事業とする会社。

(注2) デンマーク国ヒルトシャルスに本社を置き、スペイン、ポルトガルを除くヨーロッパ全土で水産品・水産加工品の販売を行っております。当社の持分法適用会社であったが、平成22年8月に全株式を取得し連結子会社としました。

(注3) 平成22年7月に全株式を譲り受けた、水産物加工・調理冷凍食品加工および販売を主な事業とする会社。

(注4) 主に食品素材や化粧品素材向けとなるEPA・DHA、グルコサミン、コレステロール、オレンジラフィー油など。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

## 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、1,998億22百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が24億4百万円、商品及び製品が40億89百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、2,110億86百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、4,109億9百万円となりました。

## 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、1,980億17百万円となりました。これは短期借入金が60億78百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、1,390億99百万円となりました。これは長期借入金が13億44百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、3,371億16百万円となりました。

## 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億78百万円増加し、737億92百万円となりました。これは主として四半期純利益12億43百万円及び為替換算調整勘定が10億94百万円増加し、配当金の支払いにより13億82百万円減少したことなどによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成23年5月10日に公表いたしました平成24年3月期の業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,962	11,519
受取手形及び売掛金	64,104	66,509
商品及び製品	48,573	52,662
仕掛品	11,552	12,405
原材料及び貯蔵品	21,619	21,721
その他	35,661	35,566
貸倒引当金	△526	△561
流動資産合計	190,947	199,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,399	49,956
その他（純額）	62,801	62,313
有形固定資産合計	113,200	112,270
無形固定資産		
のれん	4,554	4,293
その他	13,378	14,520
無形固定資産合計	17,932	18,813
投資その他の資産		
投資有価証券	59,056	59,508
その他	23,460	23,995
貸倒引当金	△3,412	△3,501
投資その他の資産合計	79,104	80,002
固定資産合計	210,237	211,086
資産合計	401,185	410,909

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,044	29,606
短期借入金	128,588	134,666
未払法人税等	1,529	1,193
未払費用	19,636	19,702
引当金	3,852	2,033
その他	7,424	10,813
流動負債合計	190,075	198,017
固定負債		
長期借入金	118,740	120,085
退職給付引当金	12,949	13,051
その他の引当金	231	188
その他	5,974	5,774
固定負債合計	137,895	139,099
負債合計	327,970	337,116
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	27,512	27,373
自己株式	△255	△255
株主資本合計	64,745	64,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△641	△677
繰延ヘッジ損益	△321	△418
為替換算調整勘定	△9,425	△8,330
在外子会社の年金債務調整額	△1,510	△1,540
その他の包括利益累計額合計	△11,899	△10,968
少数株主持分	20,368	20,155
純資産合計	73,214	73,792
負債純資産合計	401,185	410,909



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	119,426	135,171
売上原価	91,613	103,978
売上総利益	27,813	31,192
販売費及び一般管理費	26,018	27,575
営業利益	1,794	3,617
営業外収益		
受取利息	141	133
受取配当金	174	177
持分法による投資利益	—	160
雑収入	152	149
営業外収益合計	468	620
営業外費用		
支払利息	886	930
為替差損	575	68
持分法による投資損失	73	—
雑支出	103	178
営業外費用合計	1,637	1,177
経常利益	625	3,060
特別利益		
固定資産売却益	9	24
貸倒引当金戻入額	160	—
特別利益合計	170	24
特別損失		
固定資産処分損	125	88
投資有価証券評価損	413	661
災害による損失	—	182
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	387	—
特別損失合計	925	932
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△130	2,151
法人税、住民税及び事業税	295	954
法人税等調整額	498	198
法人税等合計	793	1,153
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△923	998
少数株主利益又は少数株主損失(△)	23	△244
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△947	1,243

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△923	998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,530	△5
繰延ヘッジ損益	△90	△54
為替換算調整勘定	△505	624
在外子会社の年金債務調整額	△22	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	△698	425
その他の包括利益合計	△2,847	958
四半期包括利益	△3,770	1,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,616	2,173
少数株主に係る四半期包括利益	△153	△216

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	40,298	67,654	5,825	2,852	116,630	2,795	119,426	—	119,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,294	134	7	1,595	4,032	853	4,886	△4,886	—
計	42,593	67,788	5,833	4,447	120,663	3,649	124,313	△4,886	119,426
セグメント利益 又は損失(△)	△698	1,781	1,163	327	2,573	26	2,600	△805	1,794

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。  
2. セグメント利益の調整額△805百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△800百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	54,437	68,273	6,875	2,909	132,495	2,676	135,171	—	135,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,854	110	47	1,704	4,716	821	5,538	△5,538	—
計	57,292	68,383	6,922	4,613	137,211	3,497	140,709	△5,538	135,171
セグメント利益	453	1,676	1,936	359	4,427	84	4,511	△894	3,617

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。  
2. セグメント利益の調整額△894百万円には、セグメント間取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△915百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【訂正前】



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本水産株式会社  
 コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 垣添 直也

問合せ先責任者 (役職名) 法務部長 (氏名) 竹内 康訓

TEL 03-3244-7181

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第1四半期	135,171	13.2	3,617	101.5	3,060	389.4	1,243	—
23年3月期第1四半期	119,426	△1.3	1,794	22.1	625	△52.9	△947	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,908百万円 (—％) 23年3月期第1四半期 △3,795百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.50	—
23年3月期第1四半期	△3.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	％	百万円	％	％
24年3月期第1四半期	409,295		71,336		12.5
23年3月期	399,718		70,807		12.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 51,181百万円 23年3月期 50,438百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	270,000	13.8	4,500	35.8	3,500	411.4	2,000	—	7.24
通期	525,000	6.2	12,000	48.4	11,000	75.3	5,500	—	19.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	277,210,277 株	23年3月期	277,210,277 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	916,322 株	23年3月期	915,222 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	276,294,631 株	23年3月期1Q	276,305,059 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。  
・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
四半期連結損益計算書	P 6
四半期連結包括利益計算書	P 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 8
(4) セグメント情報等	P 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災およびその後の原子力発電所事故などの影響を受け、企業活動の停滞や個人消費の落ち込みがあり、厳しい状況が続きました。

世界経済につきましては、中国を中心とするアジアでは内需を中心に景気拡大が続き、米国や欧州では景気は緩やかに回復しつつあるものの、欧州での財政・金融不安などが影響し、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下で当第1四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は1,351億71百万円（前年同期比157億44百万円増）、営業利益は36億17百万円（前年同期比18億22百万円増）、経常利益は30億60百万円（前年同期比24億34百万円増）、第1四半期純利益は12億43百万円（前年同期比21億90百万円増）となりました。

事業の営業の概況は次のとおりであります。

#### ①水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は544億37百万円（前年同期比141億38百万円増）となり、営業利益は4億53百万円（前年同期比11億52百万円増）となりました。

漁撈事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本および南米において閑漁期にあたり、漁獲量は低調に推移しました。

養殖事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、養殖技術の向上などにより販売数量が増加し、魚価も堅調に推移しました。
- ・南米では、チリの鮭鱒養殖事業で魚価が堅調に推移したことに加え、飼料、種苗の販売も順調でした。

加工・商事事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、東日本大震災後に一時的な輸入冷凍魚の需要増があり、当社において、鮭鱒、白身魚などが増収となりました。
- ・北米では、すけそうだら漁獲枠が増加し、漁獲および生産も順調に推移しましたので、すりみ・フィレーの生産数量が増加しました。
- ・南米では、ネチャーノ・インターナショナル社（注1）、ヨーロッパではノルディック社（注2）が連結子会社となりました。

#### ②食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は682億73百万円（前年同期比6億18百万円増）となり、営業利益は16億76百万円（前年同期比1億5百万円減）となりました。

加工事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、デルマール株式会社（注3）が連結子会社となりました。東日本大震災とその後のサプライチェーンの寸断や計画停電などによって業界全体の製品供給能力は落ち込む一方で、消費者の買いためなども起こり、当社の家庭用冷凍食品や業務用冷凍食品は増収となりました。
- ・北米の業務用冷凍食品会社は低調に推移しましたが、北米およびヨーロッパの家庭用冷凍食品会社は順調に推移しました。

チルド事業：前年同期比で増収、減益となりました。

- ・日本では、コンビニエンスストア向け麺類やチルド弁当の販売が伸長し増収となりましたが、生産工場の再編による生産品目の変更などがあり減益となりました。

#### ③ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料（注4）、機能性食品の生産・販売を行っております。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は68億75百万円（前年同期比10億50百万円増）となり、営業利益は19億36百万円（前年同期比7億73百万円増）となりました。

ファイン事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、東日本大震災の影響を受けて、医薬原料の販売が前倒しで推移したことから増収となりました。また、医薬品、診断薬の販売も堅調に推移しました。

## ④物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は29億9百万円（前年同期比56百万円増）となり、営業利益は3億59百万円（前年同期比32百万円増）となりました。

物流事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・日本では、冷蔵倉庫事業において、東日本大震災の影響により東北エリアは減収となりましたが、首都圏エリアでは入庫量が増加し増収となりました。

(注1) 平成22年5月に設立し同年9月より事業を開始した、ブラジル連邦共和国ペルナンブコ州レシフェ市に本社を置く養殖事業、水産調理冷凍食品の製造・販売を主な事業とする会社。

(注2) デンマーク国ヒルトシャルスに本社を置き、スペイン、ポルトガルを除くヨーロッパ全土で水産品・水産加工品の販売を行っております。当社の持分法適用会社であったが、平成22年8月に全株式を取得し連結子会社としました。

(注3) 平成22年7月に全株式を譲り受けた、水産物加工・調理冷凍食品加工および販売を主な事業とする会社。

(注4) 主に食品素材や化粧品素材向けとなるEPA・DHA、グルコサミン、コレステロール、オレンジラフィー油など。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

## 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、1,998億22百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が24億4百万円、商品及び製品が40億89百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、2,094億73百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、4,092億95百万円となりました。

## 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、1,980億17百万円となりました。これは短期借入金が60億78百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、1,399億42百万円となりました。これは長期借入金が13億44百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、3,379億59百万円となりました。

## 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億29百万円増加し、713億36百万円となりました。これは主として四半期純利益12億43百万円及び為替換算調整勘定が10億45百万円増加し、配当金の支払いにより13億82百万円減少したことなどによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成23年5月10日に公表いたしました平成24年3月期の業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,962	11,519
受取手形及び売掛金	64,104	66,509
商品及び製品	48,573	52,662
仕掛品	11,552	12,405
原材料及び貯蔵品	21,619	21,721
その他	35,661	35,566
貸倒引当金	△526	△561
流動資産合計	190,947	199,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,399	49,956
その他（純額）	62,801	62,313
有形固定資産合計	113,200	112,270
無形固定資産		
のれん	4,554	4,293
その他	13,378	14,520
無形固定資産合計	17,932	18,813
投資その他の資産		
投資有価証券	59,056	59,508
その他	21,992	22,381
貸倒引当金	△3,412	△3,501
投資その他の資産合計	77,637	78,389
固定資産合計	208,770	209,473
資産合計	399,718	409,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,044	29,606
短期借入金	128,588	134,666
未払法人税等	1,529	1,193
未払費用	19,636	19,702
引当金	3,852	2,033
その他	7,424	10,813
流動負債合計	190,075	198,017
固定負債		
長期借入金	118,740	120,085
退職給付引当金	12,949	13,051
その他の引当金	231	188
その他	6,915	6,617
固定負債合計	138,835	139,942
負債合計	328,911	337,959
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	24,325	24,186
自己株式	△255	△255
株主資本合計	61,557	61,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△641	△677
繰延ヘッジ損益	△321	△418
為替換算調整勘定	△8,645	△7,600
在外子会社の年金債務調整額	△1,510	△1,540
その他の包括利益累計額合計	△11,119	△10,237
少数株主持分	20,368	20,155
純資産合計	70,807	71,336
負債純資産合計	399,718	409,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	119,426	135,171
売上原価	91,613	103,978
売上総利益	27,813	31,192
販売費及び一般管理費	26,018	27,575
営業利益	1,794	3,617
営業外収益		
受取利息	141	133
受取配当金	174	177
持分法による投資利益	—	160
雑収入	152	149
営業外収益合計	468	620
営業外費用		
支払利息	886	930
為替差損	575	68
持分法による投資損失	73	—
雑支出	103	178
営業外費用合計	1,637	1,177
経常利益	625	3,060
特別利益		
固定資産売却益	9	24
貸倒引当金戻入額	160	—
特別利益合計	170	24
特別損失		
固定資産処分損	125	88
投資有価証券評価損	413	661
災害による損失	—	182
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	387	—
特別損失合計	925	932
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△130	2,151
法人税、住民税及び事業税	295	954
法人税等調整額	498	198
法人税等合計	793	1,153
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△923	998
少数株主利益又は少数株主損失(△)	23	△244
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△947	1,243

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△923	998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,530	△5
繰延ヘッジ損益	△90	△54
為替換算調整勘定	△530	575
在外子会社の年金債務調整額	△22	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	△698	425
その他の包括利益合計	△2,872	909
四半期包括利益	△3,795	1,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,642	2,124
少数株主に係る四半期包括利益	△153	△216

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	40,298	67,654	5,825	2,852	116,630	2,795	119,426	—	119,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,294	134	7	1,595	4,032	853	4,886	△4,886	—
計	42,593	67,788	5,833	4,447	120,663	3,649	124,313	△4,886	119,426
セグメント利益 又は損失(△)	△698	1,781	1,163	327	2,573	26	2,600	△805	1,794

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。  
2. セグメント利益の調整額△805百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△800百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	54,437	68,273	6,875	2,909	132,495	2,676	135,171	—	135,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,854	110	47	1,704	4,716	821	5,538	△5,538	—
計	57,292	68,383	6,922	4,613	137,211	3,497	140,709	△5,538	135,171
セグメント利益	453	1,676	1,936	359	4,427	84	4,511	△894	3,617

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。  
2. セグメント利益の調整額△894百万円には、セグメント間取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△915百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。